

Sunhancer™ Eco SPF Booster

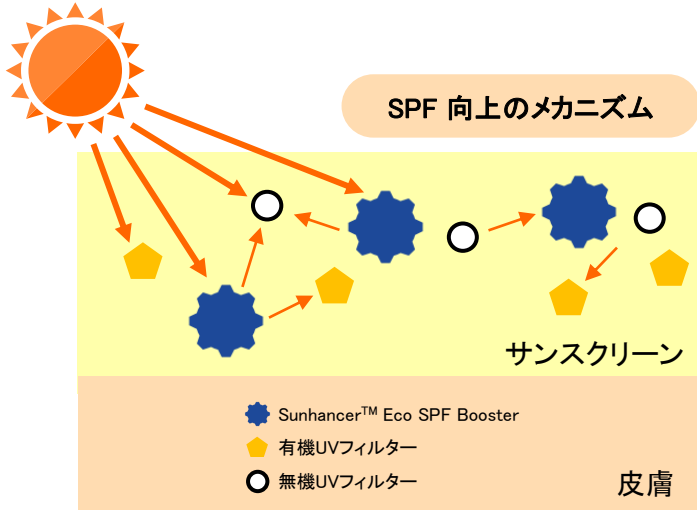
(サンハンサーエコ)

生分解性が高いサステナブルな天然由来成分

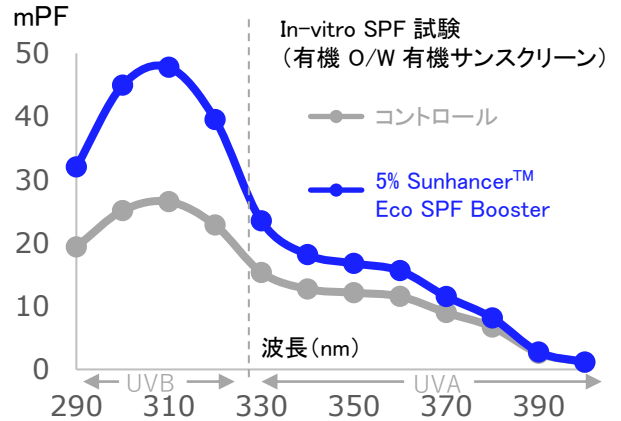
【機能・特徴】

- ★ 植物由来のSPFブースト剤（カルナウバロウ及びピコメヌカロウ）
- ★ 高い生分解性により、海洋生物への影響を低減できる
- ★ UVフィルター使用量の低減に伴う感触改良効果

Sunhancer™ Eco SPF Boosterは有機/無機のUVフィルターと一緒に併用することでSPFを向上します。(Sunhancer™ Eco SPF Booster単独ではSPFの向上は期待できません) 商品は微粒子された粉体であり、持続可能な植物由来のワックスブレンドから生産されています。使用することでSPF効果を維持したままUVフィルターの配合量を低減できるため、製剤のべたつき改善が期待できます。Sunhancer™ Eco Boosterは高い生分解性があるため環境に配慮した訴求が可能です。



幅広いスペクトル(UVA & UVB)に対する効果



厳選されたワックス

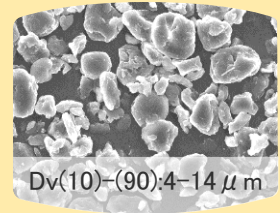


10種類以上のワックスで試験をし、組み合わせの最適化を行いました。

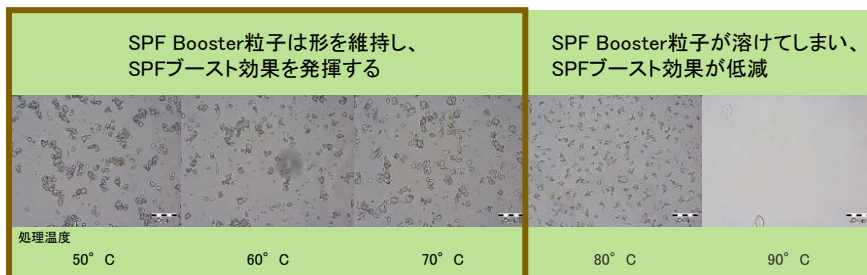
微粉化プロセス

製品特徴	製剤の利点
凝集が少ない	エマルジョン中の分散性が良い
均一/狭粒度分布	バラツキが少ない
高表面積 高いラフネス	散乱能力の増強

最適粒径



使用温度は70℃以下でお願いします。Sunhancer™ Ecoは粒子であることで効果を発揮します。



プロセス温度がSPFブースト効果に及ぼす影響

70℃未満を維持を推奨します。Sunhancer™ Eco SPF Boosterの融点: 約78~83℃

※異なる温度におけるSunhancer™ Eco SPF Booster粒子の顕微鏡画像

In vivo SPF ブースト試験

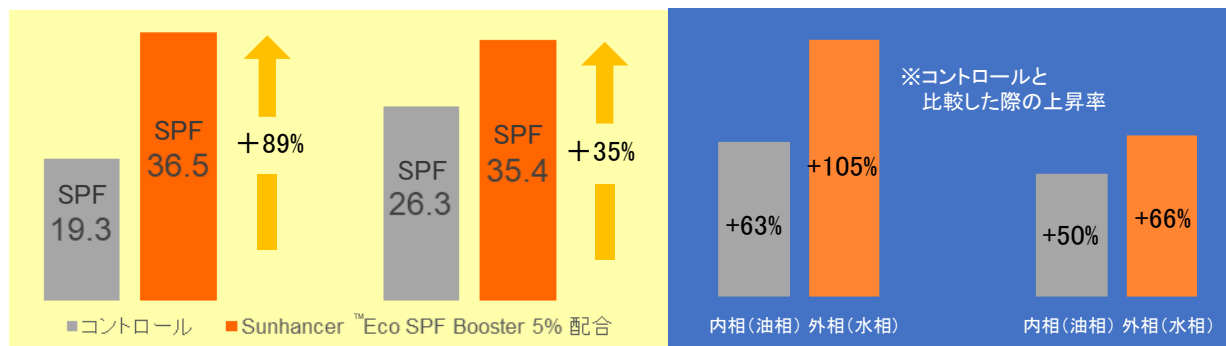
内相、外相添加時のSPF上昇率

有機系 O/W サンスクリーン

無機系 W/O サンスクリーン

有機系 O/W サンスクリーン

無機系 W/O サンスクリーン



SPFブースト試験ではSunhancer™ Eco SPF Boosterを5%添加した処方では、最大89%のSPFが向上。内相、外相添加時のSPF上昇率は、どちらに添加しても効果が確認できたが、外相に添加する方が、塗布時、皮膚表面にSunhancer™ Eco SPF Boosterをきれいに分散できるので効果が高いと考えられる。

Sunhancer™ Eco SPF Booster

・太陽光からの保護 ・地球に優しい ・感触改良



成分の特徴

- ・ In vivo試験にて、SPFの向上が89%まで確認された*
- ・ 幅広いスペクトル(UVA & UVB)に対して効果あり
- ・ 3%～5%のSPF Booster含有量で効果を発揮



製剤の利点

- ・ プロセスの柔軟性高く、任意のステップでの添加が可能
- ・ コールドプロセス対応 温める場合は70度以下でご使用下さい。
- ・ シルキーで油っぽさの少ないアフターフィールを提供します



持続可能性

- ・ 天然由来、パームフリーおよびNon-GMO
- ・ 生分解性が高い

* SPF向上率は処方内容により異なります。



天然成分
Renewable Carbon Index
(RCI) of 1
再生可能炭素指数: 1



海洋生物への影響
高い生分解性



推奨使用濃度
3-5 wt%
(100% TS)



処理温度
コールドプロセス対応
温める場合は70度以下で
ご使用下さい。

【商品情報】

商品名 : Sunhancer™ Eco SPF Booster
表示名称 : カルナウバロウ、コメヌカロウ
製造元 : 日本ルーブリゾール株式会社

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。